

財務状況の分析

区 分	内 容	
財務上の特徴	<p>経常収支比率は概ね112%～113%で推移しておりグループ平均(H14年度)105.5%を上回っており経営は安定していると思われる。また、財務の長期安定性を見る重要な指標である自己資本構成比率も、平成14年度から毎年2%向上し平成18年度は78.7%でありグループ平均の57.2%(平成14年度)を上回り経営基盤が安定していることを示している。</p> <p>グループとは給水人口1.5万人～3万人の水道事業体のこと。</p>	
経営課題	課 題	人件費の削減
	<p>現在6名(課長1名・工務係2名・庶務係3名)で業務を行っている。工務係については過去に3名の減員を行いこれ以上の減員は業務に支障をきたすと思われるが、庶務係を3名から2名にできないか。</p>	
	課 題	水道料金滞納の解消
	<p>近隣市町村と比べても料金の滞納額は多額であり、最大で平成16年度末に2,000万円計上された未収金を早期に解消する必要がある。</p>	
	課 題	
留意事項	課 題	
	課 題	
	課 題	

注1 「財務上の特徴」欄は、事業環境や地域特性等を踏まえて記載すること。また、経営指標等について経年推移や類似団体との水準比較などを行い、各自工夫の上説明すること。

2 「経営課題」欄は、料金水準の適正化、資産の有効活用、給与水準・定員管理の適正合理化、維持管理費等サービス供給コストの節減合理化、資本投下の抑制、民間的経営手法等の導入等、団体が認識する経営上の課題について、優先度の高いものから順に記載する。また、経営課題と認識する理由を類似団体等との比較を交えながら具体的に説明すること。

3 「留意事項」欄は、「経営課題」で取り上げた項目の他に、経営に当たって補足すべき事項を記載すること。

4 必要に応じて行を追加して記入すること。